

《対談》 文化財とファッション はかなさの美

講師 公益財団法人京都古文化保存協会 常務理事兼事務局長 後藤 由美子

朝日新聞ファッション担当編集委員 高橋 牧子

古都で文化財を守る活動を続ける財団法人京都古文化保存協会常務理事の後藤由美子さんと、パリ・コレクション取材から帰国して間もない高橋牧子朝日新聞ファッション担当編集委員が、移ろう美、余白の美、幽玄の美を語り合います。はかなさを愛でる日本文化の美意識は世界のトップデザイナーの価値観と響き合うのか。対照し語ることで通底するものが見えてきます。



日時 2016年 4/2日 1回 土曜日 15:30-17:00

受講料 会員 一般 とも 3,024円

(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

収益の一部を京都古文化保存協会に寄付します。

<講師紹介> 後藤 由美子(ごとう・ゆみこ)

1982年佛敎大学文学部卒業。専攻は仏敎文化。大学卒業後、京都府内の寺院や神社などの文化財所有者で組織する公益財団法人京都古文化保存協会に勤務し協会が推進する文化財保護事業、文化財愛護普及啓発事業を担当。中でも春と秋、年2回の非公開文化財特別公開については、企画交渉から運営まで50回近く担い続けている。京都の寺社の信頼が厚く、寺社や関係者の協力を得ながら、文化財を守ること、その魅力を発信して文化財の重要性を継承していくことの意義を広く伝えている。2010年2月より同協会事務局長、11年10月常務理事兼事務局長に就任、現在に至る。10年より佛敎大学非常勤講師。

<講師紹介> 高橋 牧子(たかはし・まきこ)

日本を代表するファッションジャーナリスト。ファッション業界紙の織研新聞を経て、2007年朝日新聞社に編集委員として入社。ファッションと時代との関わりに関心を持ちながら、パリやニューヨーク、東京など国内外のデザイナーコレクションや街の流行、ファッションビジネスなどを取材し続けている。多様な人の営みに向ける温かでふくよかな視線に定評がある。編著書は『新ファッションビジネス基礎用語辞典』(チャネラー刊)、『日本のレトロ』(織部企画刊)、『高橋牧子のトレンド分析』(朝日新聞デジタルAスタンド)など。朝日新聞紙面などでの連載は「やせすぎモデル問題・美の基準とは」「モードの舞台裏」「ファッションってなに?」など。

※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※ 個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿 2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-2041
<http://www.asahiculture.jp/shinjuku>